放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　6　年　2　月　　9　日

公表：令和　6年　2月　16日　　事業所名　　わいわいきっずクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広さは十分にあり、訓練室と個別療育の際に使用する部屋が確保されている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		適正に配置されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		子どもが活動する訓練室に段差はない。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		月に数回、職員が全員参加する会議を開催し情報共有をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員に広く研修に参観できる機会を提供している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシート、モニタリングを参考にし支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各職員が意見を出し、子どもたちや保護者からやりたいことを募り活動プログラムの	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎日活動内容を変えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇や休日には戸外活動や食育の日を増やすなど工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもごとに言語療育などの個別活動の時間を設けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に本日の予定を職員間で確認し、役割分担しながら準備を進めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には共有すべき事項は、オンラインのツールを使いながら各職員が確認できるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		複写式の連絡帳を用い、保護者との共有も行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとにモニタリングを行い、計画の見直しや新たな目標設定を行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校と連携し適切に行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		園とも連携を図り、情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童館との交流有。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		今後は参加予定である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を用いて情報共有を行い、必要な時は面談や電話等で保護者との連携を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○		必要に応じて保護者と話をする機会を設け、相談ごとを聞いたり支援等している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度、面談・電話などを用いて相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		イベント等で保護者が集まる機会を年に数回設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情に関しては職員間で共有をし、問題解決に向けての体制を整備している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		今後会報を発行予定。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人ファイルは書庫にて保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者の方との情報共有を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		委員会を設置し、責任者を置いている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		委員会を設置し、月に一度の防災訓練を徹底している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認し、該当する児童に関しては提供していない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルを作成し、職員間で共有できるようになっている。	